

2026年8月9日 聖霊降臨後第十一主日礼拝説教
「軽いもので救いに至るのか」(ローマ10章5～15節)

○ローマ10章9節

「口でイエスは主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われる」

*主：(神が遣わす) 救い主、(力も正しさもあって) 従うに値する御方。

問：あなたにとって、イエスは、だれなのか？

☆イエスが、あなたのために復活したと信じるなら、なぜ…

※わたしたちの言葉や思いが、救いと釣り合うものなのか。

今日のみことば：ローマ10章10節

「人は心ひとで信じて義しんとされ、口で公ぎに言い表して救くちわれるおおやけ」

*義：御心に適う、神の求めているものに届く

問：わたしたちは、いったい、なにから救われるのか？

*「救われる」の対義語は「見捨てられる」「滅びる」など

☞あなたは、なにから救われたいと願うのか。

※義とされる心が軽く、救いに至る言葉が薄くていいのか。

○ローマ10章13節

「主の名を呼び求める者は だれでも救われる」

*わが救いと助けを与え給う御方として聖名を呼び求めよ。

○ヨエル3章4、5節

「主の日、大いなる恐るべき日が来る前に 太陽は闇に、月は血に変わる。しかし、主の御名を呼ぶ者は皆、救われる。」

※すべてが終わるときも、イエスが必ず、あなたを救う。